

さくら通信

令和3年 5月発行

《発行者》

さくら動物病院

新聞編集委員

竹花

小宮山

この春、獣医師1名、
看護師3名の
新しい仲間が増えました！

新人スタッフ紹介



3月からさくら動物病院に勤務しております

獣医師の倉石智貴です。

もともと出身は長野市ですが、
北海道大学を卒業後、福岡の動物病院で3年半ほど
勤務していました。

この度、縁あってさくら動物病院に
お世話になることになりました。

まだまだ獣医師として若輩者ではございますが、
皆さまの大切なご家族の健康のため、
よりよい治療をご提案できるよう
努めさせていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

**4月から動物看護師として
働かせていただくことになりました。**

小宮山幸絵と申します。

今年の3月に動物専門学校を卒業し、
晴れて新社会人となりました。
まだ慣れない所もたくさんありますが、
できるだけ早く慣れて、
少しでも動物さんや飼い主様のお力になれるように
頑張りたいと思っています。
よろしくお願いします。



今年3月に群馬県の動物専門学校を卒業し、
4月からさくら動物病院で
動物看護師として働かせていただいています

下島愛美です。

知識も技術もまだまだ未熟で、ご迷惑を
おかけすることもあるかと思いますが
飼い主様と動物たちの力になれるよう
日々精進して参ります。
どうぞよろしくお願ひします。



4月から動物看護師として
働かせていただくことになりました。

武藤衣里加と申します。

神奈川の専門学校に通っていましたが、
就職を機に生まれ育った地元に帰ってくる事が
出来て

とても嬉しく思っています。

動物看護師としてまだまだ未熟で
皆様にご迷惑をおかけすることもあるかと
思います。


少しでも早く仕事を覚え、

皆様のお力になれるよう

日々努力して参りますので、

どうぞよろしくお願ひします。





猫コラム

獣医師 別府

日々、猫のことばかり考えている。彼らから得られる教訓はとても多い。今回はウッチーのこと。

彼女はありふれた牛柄のメス猫である。10年ほど前に、同じ牛柄の母猫が我が家の納屋で産み落とし、一人で育て上げた聡明な猫である。母猫は可憐なたずまいの猫だったが、ウッチーは殺し屋のようなシャープな雰囲気を出すクールビューティーだ。実際、彼女のハンティングスキルは最上級で、小鳥もネズミも彼女に狙われたら逃げられない。

そんな彼女の生き方は学ぶところが多い。彼女は完全な外飼いで、我が家の庭で生活をしている。彼女が一番の古株だが、庭には彼女以外の猫も住んでいるし、ちょっと寄っていくだけの野良猫やご近所の猫もいる。家の中にも猫はいる。その誰とも彼女は大きなトラブルを起こしたことがない。全ての猫と仲良しというわけではない。どちらかというとな彼女にとって好もしくない相手の方が多いのだが、なんとというか、彼女は暴力的ではないのだ。争わずに自分の意思を伝える距離感の取り方を知っているのだ。威圧的な相手でもお互いの間に小さな妥協案をかわし、結果として自分自身の居場所を守っている（ように見える）。

例えば、彼女の餌を奪う猫がいたとしても彼女は焦って攻撃したり、威嚇したりしない。相手から見えるやや離れた場所から、「私のご飯、本当はあげたくないけど、食べたら帰るでしょ?」と言っているようにじっとただ見ている。そうするとたふく食べた後にその猫はすっといなくなる。


彼女よりも後から庭に住み着いた母娘猫は彼女の住処を略奪したが、私たちが新しく現在の木箱の寝床を用意したら彼女はあっさりそちらに移動した。元の住処を取り返そうとしなかった。ただ、時々、「こっち側は私の場所だからね」と念を押すかのようにやはり少し離れた場所から見つめている。それが伝わったのかはわからないが、その後、母娘猫はそれ以上ウッチーから何も奪っていないし、庭のほとんどの部分は今でもウッチーに優先的に所有権がある。彼女の周りでは争いの血は流れない。

室内で飼われている猫を見ても決して家の中に入れろとは言わないし、高級な餌をよこせとも言わない。私たち人間のことも困らせない。（ちなみに室内猫とは少し仲が良い）

人間が畑仕事をしていれば手伝いでもしたいのか周りをちょろちょろとし、「ウッチー」と声をかければ嬉しくてでんぐり返しをしてしまう。なんとも愛おしい。

そう、彼女は「完璧」なのだ、猫として。自らに与えられた世界の中で、多くの猫や人と関わりながらしなやかに生きている。多少のトラブルなんかで彼女は自分自身を見失ったりしない。天性の聡明さで外猫としての自由な人生（猫生?）を存分に謳歌している（ように思える）。彼女が晴れた日の太陽の下で砂浴びをしたり、満足そうな顔で昼寝をしている姿は生きる喜びそのものだ。

彼女を見ていると小さなことに目くじらを立てすぎている日々の自分が全く愚かに思えてしまう。人間というのはとかく目の前の不幸にとらわれがちだが、人生は元来、幸せで満ち溢れているものなのだ。ただ、彼女のようにしなやかに生きるためにはまだまだ修行が必要だ。今日も彼女の生き様を目の当たりにし、日々のあれこれを反省するのである。



フィラリアの検査はお済ですか？

小諸周辺は5月末からフィラリアの予防シーズンに入ります。

もう皆さんはフィラリアの検査はお済ですか？

病院では、去年しっかり予防ができていたかチェックをしたうえで、今年のフィラリア予防を始めることをお勧めしています！

特に「去年のお薬がなぜか余っているわ？」、「去年飲み忘れてしまったの…。」なんて方は、余ったお薬をあげてしまう前に、ぜひフィラリアの検査をお勧めします！

フィラリアの子虫が身体の中にいる状態でお薬をあげると、大量の子虫が一気に死ぬことによって、アナフィラキシーショックなどの危険なアレルギー症状を引き起こすことがありますので、注意が必要です。

フィラリア予防は、5月末から11月末までの予防となります。

予防には、その子その子に合わせたタイプを選ぶことができます。

飲み忘れが心配な方はお注射タイプ、ご飯をバクバク食べる子なら錠剤タイプ、おやつが好きな子はおやつタイプ、ノミダニ予防も一緒にと考えるなら一緒のタイプなど…。

他にも様々なものがありますので、ぜひスタッフにご相談ください！



土曜日午後休診のお知らせ

手術・検査の増加、人員不足に伴い、2021年5月より毎週土曜日の午後は休診となります。

土曜の午前中は今まで通り外来診察を行っています。

ご不便をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

院長 横山篤司

SAKURA ANIMAL CLINIC

さくら動物病院

長野どうぶつ眼科センター(併設)

休診：火曜日／第四日曜日／
木・土・日・祝祭日の午後

獣医師出勤表、さくら通信、お知らせ
随時更新しています。ホームページはこちら



休診日・午後休診は
当院のホームページまたは
お電話にてご確認ください。